

令和 6 年 6 月 4 日現在

機関番号：24506  
研究種目：基盤研究(B) (一般)  
研究期間：2021～2023  
課題番号：21H03774  
研究課題名(和文) 批判的ウェブ検索のための多様情報マイニングとインタラクション研究基盤の構築  
  
研究課題名(英文) Diverse Information Mining and Search Interaction for Critical Web Search  
  
研究代表者  
山本 岳洋 (Yamamoto, Takehiro)  
  
兵庫県立大学・情報科学研究科・准教授  
  
研究者番号：70717636  
交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 10,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題では、検索ユーザが限られた情報だけから意思決定するのではなく、多様な情報に触れながら意思決定を行う仕組みの実現を目指し研究を行った。主な研究成果として、(1) 賛否両論ある検索トピックにおいてユーザがどのようなウェブページを評価し、どう意見形成するのかを明らかにした。また、(2) 検索ユーザのクエリの背後にある暗黙的仮定を検出する技術を実現し、(3) 音声会話型検索において多様な観点から情報を獲得するための適切な観点推薦タイミングを明らかにした。

#### 研究成果の学術的意義や社会的意義

フェイクニュースやフィルタブルといった言葉に代表されるように、ウェブ上の情報の信頼性や偏りは大きな社会的問題となっている。そのような状況のなか、本研究で取り組んだウェブ検索を通じた意思決定のプロセスの解明、暗黙的仮定の検出、音声会話型検索における観点推薦タイミングの検証などは人々が多様な情報に基づいて意思決定を行うことができる仕組みの実現に繋がる。

研究成果の概要(英文)：In this research project, we aimed to develop a system that enables users to make decisions by interacting with diverse information rather than relying on biased information. The main research outcomes include: (1) investigating the types of web pages people find useful regarding controversial topics and how these pages affect people's opinion formation; (2) developing a technique to detect implicit assumptions underlying user search queries; and (3) revealing the timing of aspect suggestion to encourage diverse information acquisition in spoken conversational search.

研究分野：情報検索

キーワード：情報検索 批判的ウェブ検索行動 探索的検索 会話型情報検索

## 様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

ウェブを用いた意思決定が一般的になっている。たとえば、2020年の調査によると、回答者の46%がGoogleを使用して、頻りに医療の重要な決定を行っていることが報告されている。このように、ウェブ上の情報は我々の社会生活に重要な役割を果たしている。

その一方で、情報の偏りや信頼性は大きな社会的問題である。たとえば、Whiteは健康情報に関する検索結果上位に表示されるウェブページの信頼性に関する問題を指摘している。また、Pogacarらは検索結果に表示される情報の分布が、ユーザの意思決定に影響を与えることを報告している。こうした報告は、偏った情報や信頼性の低い情報から意思決定を行ってしまうことの問題性を明らかにしている。

ユーザが適切な意思決定を行うには、ユーザ自身が多様な情報に触れ、慎重に意思決定を行う必要がある。本研究では、多様な情報を調べ、かつ得られた情報を精査するような検索行動を批判的ウェブ検索行動と定義する。批判的検索行動について理解し、促進するための技術の実現が求められている。

### 2. 研究の目的

本研究の目標は、本研究で実現した技術を用いることで、人々が偏った情報だけから意思決定を行うのではなく、多様な情報に基づいてより適切な意思決定を行うことができる社会の実現である。そのために、本研究では、多様な情報を獲得するためのマイニング技術、多様な情報に触れるためのインタラクション技術の実現に取り組んだ。

### 3. 研究の方法

上記研究目的を実現するため、本研究では主に以下の3つの研究課題について取り組んだ。

研究課題1: 賛否両論ある検索トピックにおけるユーザのウェブページ評価と意見形成の理解

研究課題2: 検索クエリに含まれる暗黙的仮定の検出

研究課題3: 音声会話型検索における多様な情報獲得のためのインタラクション

以下では、これら3つの研究課題の研究方法について述べる。

研究課題1: 賛否両論ある検索トピックにおけるユーザのウェブページ評価と意見形成の理解

検索を通じて意見を決定する際、さまざまな情報から意見形成することは重要である。特に、「小学生に宿題は必要か」、「子どもに新型コロナワクチンは必要か」といった真偽が決まっていないような、賛否両論あるトピックにおいて意見形成をする際は、より慎重な意見形成が必要である。一方、ユーザが検索を通じてどのようなウェブページを重視し、ウェブページの意見が自身の意見形成にどう影響を与えるかは明らかになっていない。これらを明らかにすることは、ユーザの批判的検索を促す検索システムを実現する上で重要である。そこで、本研究では賛否両論ある検索トピックにおけるユーザのウェブページ評価と意見形成の理解に取り組んだ。

具体的には、12名の実験参加者に、「小学生に宿題は必要か」、「子どもに新型コロナワクチンは必要か」という2つの検索トピックで検索を行ってもらった。実験では検索前後の検索トピックに対するユーザの意見や、検索中に閲覧したウェブページに対する信頼性の評価、実験後のインタビューといったデータを収集した。実験後、人手によりウェブページに対してアノテーションを行い、ユーザが評価できると回答したウェブページがどのような特性を持っているのかを明らかにするとともに、どのような理由により検索トピックに対する自身の意見を決定しているのかを分析した。

研究課題2: 検索クエリに含まれる暗黙的仮定の検出

ウェブ検索を行う際、ユーザはなんらかの暗黙的な仮定を持って検索を行うことがある。たとえば、「糖尿病に効果的なシナモンサプリのおすすめはなにか」というクエリについて考えてみる。このユーザは「シナモンが糖尿病に効果的である」という仮定を持っていると考えられる。このユーザに対して、「シナモンは糖尿病に効果的か」という情報を提示することは、ユーザの慎重な検索を促すことができると考えられる。

そこで本課題では、ユーザの検索クエリからそのクエリの背後に含まれる暗黙的仮定を検出する手法について取り組んだ。まず、健康情報に関するクエリを対象とし、治療法が症状の改善に効果的か、効果的でないか、検証が必要かという3つ暗黙的仮定を予測するモデルの開発を行った。具体的には、クラウドソーシングを用いて健康情報に関するクエリと暗黙的仮定のペアを収集し、ロジスティック回帰やBERTによりクエリ中に含まれる暗黙的仮定を予測する分類モデルを構築した。

次に、大規模言語モデルを用いてクエリから暗黙的仮定を直接生成するモデルの開発を行った。こちらもクラウドソーシングを用いてクエリと暗黙的仮定のペアを収集し、モデルをファイ

ンチュニーングすることでモデルの構築を行った。

### 研究課題 3: 音声会話型検索における多様な情報獲得のためのインタラクション

Amazon Echo や Google Home, Siri をはじめとする音声会話型検索エージェントを日常生活の中で利用する機会が増えてきている。特に、大規模言語モデルの急速な発展により、音声会話型検索エージェントを用いた情報検索が今後ますます一般的になると考えられる。一方で、音声による検索では、単純にクエリへ返答するだけでは、次にユーザが何を検索したら良いかわからず、満足に結果を得ることができないという可能性がある。例えば、「ダークチョコレートについて教えて」というユーザからのクエリに対して、単純に「カカオポリフェノールが 55%以上含まれるチョコレートのことです」とシステムが返答したとしても、ユーザが次のクエリが思いつかず、検索が進まないことが考えられる。

そこで本課題では、音声会話型検索エージェントがユーザに対して能動的に次に調べるべき観点を推薦する仕組みを実現し、その有効性を検証する。特に、観点をユーザに推薦するタイミングについて検証する。

具体的には、Alexa を実験システムとして使用し、Wizard-Of-Oz 法を用いて実験室実験を行った(図 1)。実験参加者は 3 種類の異なるシステムを用いて、与えられた 3 つのトピックに関する検索タスクをこなした。実験に用いた検索システムは、以下の 3 つである。

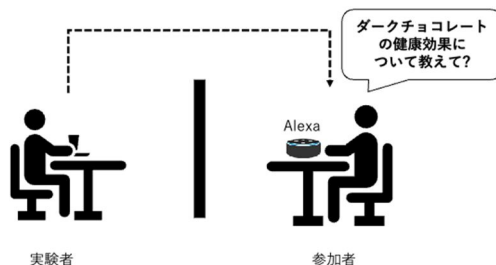


図 1: Wizard-Of-Oz 法による実験

観点推薦なし: 観点推薦をしないシステム。実験参加者のクエリに対してのみ回答する。

観点推薦あり(即時介入): 実験参加者のクエリへの回答直後に、即座に観点推薦するシステム。たとえば、ユーザが「ダークチョコレートの成分について教えて」というクエリを発行した場合、システムはクエリの回答とともに観点推薦を行う。「ダークチョコレートには通常のチョコレートと比較してカカオポリフェノールが多く含まれています。適切な摂取量について調べますか?」というような推薦を行う。

観点推薦あり(遅延介入): 実験参加者がクエリ発行に難航している際に観点推薦するシステム。実験者は実験室に設置されたビデオカメラを通じて実験参加者の状況を観察し、観点推薦のタイミングを決定する。

実験参加者はこれら 3 つの検索システムを用いて検索を行い、得られた情報の多様性や、ユーザ側からの自発的なクエリ投入数などを分析した。

## 4. 研究成果

### 研究課題 1: 賛否両論ある検索トピックにおけるユーザのウェブページ評価と意見形成の理解

実験参加者が参考になると評価したウェブページを著者らが人手で分類した結果を表 1 に示す。適合性を除くと、宿題タスクの場合、ウェブページ中の記述の視点の有無が多く評価され、続いて客観性が評価されることがわかった。また、詳細性や両面提示なども評価された。

これらの結果から、宿題タスクの場合、多角的な視点からの情報や意見が記載されているウェブページを参考に行っている人や、実験結果のような根拠に基づいた情報が記載されているウェブページを参考に行っている人がいることがわかった。

また、ワクチンタスクの場合、客観性が実験参加者の多くに評価され、続いて詳細性が評価された。ワクチンタスクのトピックは健康情報の性質も含んでいるため、実験結果などの根拠が記載されているウェブページを参考にする結果になったと考えられる。

さらに、検索者が得られた情報からどのように意見を形成しているのかに関する分析をした。具体的には、意見形成の理由に対する自由記述とインタビュー内容を対象にして分析を行った。その結果、意見形成の型には損害最小型、メリット重視型、デメ

表 1: ウェブページの分類結果

	宿題タスク	ワクチンタスク
専門性	0	1
権威性	0	2
客観性	4	12
人気	1	1
詳細性	3	3
両面提示	3	1
了解性	0	1
意見の有無	1	1
実例	2	2
視点の有無	5	2
適合性	26	20
その他	9	0
計	54	46

リット重視型，信用性重視型，多数決型，単一ページ確信型，事前信念先行型という7つの型があることがわかった。

### 研究課題2： 検索クエリに含まれる暗黙的仮定の検出

まず，健康情報に関するクエリを対象とした，暗黙的仮定の分類精度について検証した。構築したBERTとロジスティック回帰について，RSS (Rooted Residual Sum of Squares) とJSD (Jensen-Shannon Divergence) の2指標で分類精度を評価した。表2はBERTとロジスティック回帰，そして比較用のベースライン手法の予測精度を示したものである。その結果，検索結果の情報を用いずクエリ情報のみから予測をするロジスティック回帰が最も高い精度を示したことがわかった。

表 2: 暗黙的仮定の分類精度

モデル	RSS	JSD
ベースライン (一様分布)	0.786	0.301
BERT (クエリ単体)	0.689	0.256
BERT (クエリ+検索結果)	0.722	0.271
ロジスティック回帰 (クエリ単体)	<b>0.685</b>	<b>0.252</b>
ロジスティック回帰 (クエリ+検索結果)	0.687	0.254

また，クエリから暗黙的仮定を直接生成する手法の評価を行った。1,250件の訓練データを用いて3つの大規模言語モデル (T5, rinna-3.6b, GPT3.5 Turbo) をファインチューニングし，モデルの性能を検証した。その結果，大規模言語モデルのパラメータ数が多いほど，その性能が向上する傾向があることがわかった。

### 研究課題3： 音声会話型検索における多様な情報獲得のためのインタラクション

27名の実験参加者を対象に，観点推薦なし，観点推薦あり (即時介入)，観点推薦あり (遅延介入) の3つのシステムを利用した際のユーザの観点獲得割合を表3に示す。表より，観点推薦を行うことでユーザの多様な情報獲得が促されることが明らかになった。

表 3: 観点情報獲得割合の比較

	観点推薦なし	観点推薦あり (即時介入)	観点推薦あり (遅延介入)
観点情報獲得割合	0.34(0.15)	<b>0.75(0.26)<sup>1,3</sup></b>	<b>0.53(0.15)<sup>1</sup></b>

表 4: 自発クエリ投入数，推薦クエリ投入数の比較

	観点推薦なし	観点推薦あり (即時介入)	観点推薦あり (遅延介入)
自発クエリ投入数	<b>11.89(3.38)<sup>2,3</sup></b>	5.44(2.59)	<b>9.33(3.51)<sup>2</sup></b>
推薦クエリ投入数	-	<b>8.74(3.58)<sup>3</sup></b>	3.96(1.71)
合計クエリ投入数	11.89(3.83)	<b>14.19(2.90)<sup>1</sup></b>	13.29(3.00)

また，システム側からの推薦に基づくクエリ発話，ユーザ側からの自発的なクエリ発話についても分析を行った (表4)。

分析の結果，観点推薦あり (遅延介入) は観点推薦あり (即時介入) よりもユーザ側からの自発的なクエリ発話が多くなることがわかった。実験後の実験参加者のインタビューでは，「間があると私の考えを整理するのが簡単になり，それでこの質問を思いついた」のように，観点推薦に遅延を挟むことで，検索ユーザの考えの整理につながり，それがユーザの自発的なクエリ推薦を促す可能性が示唆された。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計29件（うち査読付論文 28件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 Yuki Yanagida, Makoto P. Kato, Yuka Kawada, Takehiro Yamamoto, Hiroaki Ohshima, Sumio Fujita	4. 巻 -
2. 論文標題 What Web Search Behaviors Lead to Online Purchase Satisfaction?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 15th ACM Web Science Conference 2023 (WebSci 2023)	6. 最初と最後の頁 324-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3578503.3583615	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yumiho Takeuchi, Yoshiyuki Shoji, Martin J. Durst	4. 巻 -
2. 論文標題 Method of Loci in VR Web Search: Memory Retention Support by Organizing Search Results in a VR Room	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of 25th International Conference on Human-Computer Interaction (HCI International 2023)	6. 最初と最後の頁 373 - 391
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-031-35017-7_24	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryota Mibayashi, Takehiro Yamamoto, Kosetsu Tsukuda, Kento Watanabe, Tomoyasu Nakano, Masataka Goto and Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 Verse Generation by Reverse Generation Considering Rhyme and Answer in Japanese Rap Battles	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 16th International Symposium on Computer Music Multidisciplinary Research (CMMR 2023)	6. 最初と最後の頁 30-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.10109962	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsukasa Hirano, Yoshiyuki Shoji, Takehiro Yamamoto and Martin J. Durst	4. 巻 -
2. 論文標題 Buy Eye-Mask Instead of Alarm Clock!: Graph-Based Approach to Identify Functionally Equal Alternative Products	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 25th International Conference on Information Integration and Web Intelligence (iiWAS 2023)	6. 最初と最後の頁 265-279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-031-48316-5_27	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomohiro Ishii, Yoshiyuki Shoji, Takehiro Yamamoto, Hiroaki Ohshima, Sumio Fujita and Martin J. Durst	4. 巻 -
2. 論文標題 Generating Fine-Grained Aspect Names from Movie Review Sentences Using Generative Language Model	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 25th International Conference on Information Integration and Web Intelligence (iiWAS 2023)	6. 最初と最後の頁 217-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-031-48316-5_23	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuna Saka, Yoshiyuki Shoji, Hiroaki Ohshima, Kouzou Ohara	4. 巻 -
2. 論文標題 Digital Index Card Creation and Management for Memorizing What You See on the Web	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of The 25th International Conference on Information Integration and Web Intelligence (iiWAS 2023)	6. 最初と最後の頁 541 - 546
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-031-48316-5_47	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tensho Miyashita, Yoshiyuki Shoji, Sumio Fujita, Martin J. Durst	4. 巻 -
2. 論文標題 Movie Keyword Search Using Large-Scale Language Model With User-Generated Rankings and Reviews	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of The 25th International Conference on Information Integration and Web Intelligence (iiWAS 2023)	6. 最初と最後の頁 249 - 255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-031-48316-5_25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Hagiwara and Takehiro Yamamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Web Page Evaluation and Opinion Formation on Controversial Search Topics	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 25th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL 2023)	6. 最初と最後の頁 188-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-99-8085-7_17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuka Kawada, Takehiro Yamamoto, Hiroaki Ohshima, Yuki Yanagida, Makoto P. Kato and Sumio Fujita	4. 巻 -
2. 論文標題 Analyzing Web Search Queries of Before and After Purchase on e-Commerce Site	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 25th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL 2023)	6. 最初と最後の頁 181-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-99-8085-7_16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jinsong Yu, Shio Takidaira, Tsukasa Sawaura, Yoshiyuki Shoji, Takehiro Yamamoto, Yusuke Yamamoto, Hiroaki Ohshima, Kenro Aihara and Noriko Kando	4. 巻 -
2. 論文標題 Personalized Treasure Hunt Game for Proactive Museum Appreciation by Analyzing Guide App Operation Log	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 25th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL 2023)	6. 最初と最後の頁 30-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-99-8088-8_3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoya Hashiguchi, Ryota Mibayashi, Huu-Long Pham, Wakana Kuwata, Yuka Kawada, Yuya Tsuda, Takehiro Yamamoto, and Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 KANDUH at the NTCIR-17 Transfer Task	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 17th NTCIR Conference on Evaluation of Information Access Technologies (NTCIR-17)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20736/0002001330	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Huu-Long Pham, Ryota Mibayashi, Takehiro Yamamoto, Makoto P. Kato, Yusuke Yamamoto, Yoshiyuki Shoji and Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 Inference-based No-Learning Approach on Pre-trained BERT Model Retrieval	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2024 IEEE International Conference on Big Data and Smart Computing (IEEE BigComp 2024)	6. 最初と最後の頁 234-241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/BigComp60711.2024.00044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shen Chenfu, Yoshiyuki Shoji, Takehiro Yamamoto, Katsumi Tanaka, Martin J. Durst	4. 巻 -
2. 論文標題 Generating Experiential Descriptions and Estimating Evidence Using Generative Language Model and User Products Reviews	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Proceedings of 2024 International Conference on Big Data and Smart Computing (BigComp 2024)	6. 最初と最後の頁 254-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/BigComp60711.2024.00047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tensho Miyashita, Yoshiyuki Shoji, Sumio Fujita, Martin J. Durst	4. 巻 -
2. 論文標題 BERT-Based Movie Keyword Search Leveraging User-Generated Movie Rankings and Reviews	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Proceedings of 2024 International Conference on Big Data and Smart Computing (BigComp 2024)	6. 最初と最後の頁 246-253
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/BigComp60711.2024.00046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuya Tsuda, Takehiro Yamamoto, Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 Mixed Reality Interaction for Product Search Using Whiteboard	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Proceedings of the 2024 ACM SIGIR Conference on Human Information Interaction and Retrieval (CHIIR 2024)	6. 最初と最後の頁 396?400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3627508.3638346	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kaisei Nishimoto, Kenro Aihara, Noriko Kando, Yoshiyuki Shoji, Yusuke Yamamoto, Takehiro Yamamoto and Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 A Gamification System for Acquiring Appreciation Perspectives in Museum	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Proceedings of the 12th IEEE International Conference on Information and Education Technology (IEEE ICJET 2024)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Yuna Morita, Takehiro Yamamoto, Yoshiyuki Shoji, Hiroaki Ohshima, Yusuke Yamamoto, Noriko Kando and Kenro Aihara	4. 巻 -
2. 論文標題 Impressing museum visitors by having them answer questions toward the realization of an interactive viewing support system	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Proceedings of the 12th IEEE International Conference on Information and Education Technology (IEEE ICIET 2024)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三林亮太, 山本 岳洋, 佃洗撰, 渡邊研斗, 中野倫靖, 後藤真孝, 大島裕明	4. 巻 17
2. 論文標題 ラップバトルにおける逆向き生成によるライムを含む返答パース生成	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌：データベース	6. 最初と最後の頁 28-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Yanagida, Makoto P. Kato, Yuka Kawada, Takehiro Yamamoto, Hiroaki Ohshima, Sumio Fujita	4. 巻 -
2. 論文標題 What Web Search Behaviors Lead to Online Purchase Satisfaction?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 15th ACM Web Science Conference 2023 (WebSci 2023)	6. 最初と最後の頁 324-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1145/3578503.3583615	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳田 雄輝, 加藤 誠, 河田 友香, 山本 岳洋, 大島 裕明, 藤田 澄男	4. 巻 1
2. 論文標題 検索行動に基づく購買満足度の関係分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本データベース学会データドリブスタディーズ	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 坂根 和光, 三林 亮太, 川原 敬史, 山本 岳洋, 澤田 祥一, 高階 勇人, 大島 裕明	4. 巻 1
2. 論文標題 BERTを用いた場所の説明文に対する位置特定容易性の推定	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本データベース学会データドリブスタディーズ	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 奥田 萌莉, 大島 裕明	4. 巻 16
2. 論文標題 形・葉脈の特徴に着目した樹葉画像の深層学習に基づく分類	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 情報処理学会論文誌：データベース	6. 最初と最後の頁 14-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoya Hashiguchi, Takehiro Yamamoto, Sumio Fujita, Hiroaki Ohshima	4. 巻 E105-D
2. 論文標題 Toward Generating Robot-Robot Natural Counseling Dialogue	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 IEICE Transactions on Information and Systems	6. 最初と最後の頁 928-935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/transinf.2021DAP0008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原 敬史, 湯本 高行, 大島 裕明	4. 巻 J105-D
2. 論文標題 事故説明文からの傷病の程度の推定	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D	6. 最初と最後の頁 1881-0225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14923/transinfj.2021DEP0010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryota Mibayashi, Masaki Ueta, Takafumi Kawahara, Naoaki Matsumoto, Takuma Yoshimura, Kenro Aihara, Noriko Kando, Yoshiyuki Shoji, Yuta Nakajima, Takehiro Yamamoto, Yusuke Yamamoto and Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 MinpakuBERT: A Language Model for Understanding Cultural Properties in Museum	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Proceedings of the 12th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI 2022)	6. 最初と最後の頁 13-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IIAIAAI55812.2022.00013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dan Wang, Ryota Mibayashi and Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 Visual Metaphor Construction for Image and Description of Fashion Goods	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Proceedings of the 12th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI 2022)	6. 最初と最後の頁 158-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IIAIAAI55812.2022.00040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Soichiro Hamajima, Takehiro Yamamoto and Hiroaki Ohshima	4. 巻 -
2. 論文標題 Investigating Users' Query Formulations in Consumer Health Search	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the 10th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI 2021)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HASHIGUCHI Tomoya, YAMAMOTO Takehiro, FUJITA Sumio, OHSHIMA Hiroaki	4. 巻 E105.D
2. 論文標題 Toward Generating Robot-Robot Natural Counseling Dialogue	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 IEICE Transactions on Information and Systems	6. 最初と最後の頁 928 ~ 935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/transinf.2021DAP0008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原 敬史、橋口 友哉、湯本 高行、大島 裕明	4. 巻 J105-D
2. 論文標題 事故説明文からの傷病の程度の推定	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 電子情報通信学会論文誌D 情報・システム	6. 最初と最後の頁 322 ~ 336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14923/transinfj.2021DEP0010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計62件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 津田裕哉, 山本岳洋, 大島裕明
2. 発表標題 MR空間におけるホワイトボードに対するインタラクションを用いた商品情報検索
3. 学会等名 第31回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 奥田萌莉, 石澤秀紘, 大島裕明
2. 発表標題 画像認識によるウキクサ科植物の表面積と総枚数の推定
3. 学会等名 第26回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 芦澤亜里紗, 三林亮太, 大島裕明
2. 発表標題 食品レビュー検索のためのLLMによる同義フレーズ生成のクエリ拡張への応用
3. 学会等名 NII-IDRユーザフォーラム 2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中山裕紀, 莊司慶行, 大島裕明
2. 発表標題 不動産情報探索のためのVRインタフェースにおける情報との物理的距離によるLoD制御
3. 学会等名 NII-IDRユーザフォーラム 2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 平位遼, 飛岡憲, 山本岳洋
2. 発表標題 音声対話型検索における階層型検索意図を用いたクエリ推薦の戦略
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 中井香那子, 河田友香, 山本岳洋
2. 発表標題 文章間類似性判定モデルの根拠の抽出
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 佐々木泰河, 工家昂之, 山本岳洋, 莊司慶行
2. 発表標題 特定選手に注目した試合結果記事見出しのパーソナライズ
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 河田友香, 山本岳洋, 大島裕明, 藤田澄男
2. 発表標題 追加事前学習によるレビューと商品属性の対応関係学習
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 前田直宏, 山本岳洋
2. 発表標題 生成型要約に基づくWebページのサムネイル生成
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 藤井真梨乃, 河田友香, 山本岳洋
2. 発表標題 大規模言語モデルを用いたその場での要約に基づくレビュー探索インタフェース
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 工家昂之, 山本岳洋, 莊司慶行
2. 発表標題 手続き的知識源学習によるタスク検索における方法と目的の生成
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 ファミフォーロン, 三林亮太, 山本岳洋, 加藤誠, 山本祐輔, 莊司慶行, 大島裕明
2. 発表標題 k近傍法を用いた事前学習済みBERTモデル検索
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 津田裕哉, 山本岳洋, 大島裕明
2. 発表標題 MR空間におけるホワイトボードに対するインタラクションを伴う商品情報の探索
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 西本海生, 相原健郎, 神門典子, 莊司慶行, 山本祐輔, 山本岳洋, 大島 裕明
2. 発表標題 博物館の展示物を用いたビンゴゲームによる鑑賞軸の習得
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 三林亮太, 佃洗撰, 渡邊研斗, 中野倫靖, 後藤真孝, 山本岳洋, 大島裕明
2. 発表標題 ラップバトルにおけるアンサーの類型化および類型の自動分類
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 沈辰夫, 莊司慶行, 山本岳洋, 大原剛三, 田中克己
2. 発表標題 大規模言語モデルによる商品レビュー文のキャッチコピーへの変換
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 宮下天祥, 莊司慶行, 藤田澄男, 大原剛三
2. 発表標題 生成系言語モデルによる架空のレビューを介した映画検索
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大江優真, 莊司慶行
2. 発表標題 投稿コーディネート画像を用いたLoRAモデルの作成と分析
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 平野司, 莊司慶行, 山本岳洋, 大原剛三
2. 発表標題 代替行動推薦のためのアチーブメント関係にある行動の発見
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年



1. 発表者名 VUTHI NGOCANH, Yoshiyuki Shoji, Pham HuuLong, Hiroaki Ohshima
2. 発表標題 Finding Generative Image LoRA Model by Inputting Style Sample Image
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 芦澤亜里紗, 三林亮太, 大島裕明
2. 発表標題 食品レビュー検索でのクエリ拡張のためのLLMを用いた同義フレーズ生成
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 中西勇輝, 桑田若菜, 三林亮太, 山本祐輔, 大島裕明
2. 発表標題 授業改善のための意見を引き出すAIインタビュアー
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 中山裕紀, 津田裕哉, 莊司慶行, 大島裕明
2. 発表標題 物理的距離によるLoD制御をともなうVR環境における不動産情報探索
3. 学会等名 第16回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2024)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 河田友香, 山本岳洋, 大島裕明, 柳田雄輝, 加藤誠, 藤田澄男
2. 発表標題 商品属性とレビューの対応関係学習に基づく言語モデル構築
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 工家昂之, 山本岳洋, 莊司慶行
2. 発表標題 手続き的知識源を用いた方法を表すクエリからの目的抽出
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 前田直宏, 山本岳洋
2. 発表標題 カスタマイズ可能なWebページサムネイル生成のためのDOMノード役割推定
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 飛岡憲, 山本岳洋
2. 発表標題 声会話型検索エージェントにおける多様な情報を促すための観点推薦タイミングに関する研究
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 今坂優太, 山本岳洋, 大島裕明, 加藤誠, 藤田澄男
2. 発表標題 健康情報検索におけるクエリに含まれる暗黙的な仮定の検出
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 秋原諒, 山本岳洋
2. 発表標題 賛否両論ある検索トピックにおけるウェブページ評価と意見形成の調査
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 花井拓未, 山本岳洋
2. 発表標題 オンライン上の健康情報に対する接触頻度および信頼性意識調査
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 森田佑菜, 山本岳洋, 莊司慶行, 大島裕明, 山本祐輔, 神門典子, 相原健郎
2. 発表標題 対話型鑑賞システム実現に向けた質問に答えさせることによる博物館鑑賞の印象付け
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 平野 司, 莊司 慶行, 山本 岳洋, Martin J. D?rst
2. 発表標題 商品レビューグラフを用いた利用目的を達成可能な代替商品の検索
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石井 智大, 莊司 慶行, 山本 岳洋, 大島 裕明, 藤田 澄男, Martin J. D?rst
2. 発表標題 生成的言語モデルを用いた映画レビュー文からの細粒度な観点名の生成
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 木下 俊哉, 莊司 慶行, 大島 裕明, Martin J. D?rst
2. 発表標題 覚えやすい経路案内文生成を目的とする交差点を分かりやすく表現可能な地物のウェブ投稿からの抽出
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 沈 辰夫, 莊司慶行, 山本 岳洋, 田中 克己, Martin J. Durst
2. 発表標題 商品のユーザレビューを利用した体験的な記述の生成とその根拠の推定
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮下 天祥, 莊司 慶行, 藤田 澄男
2. 発表標題 レビューを用いた映画の特徴量化と学習方法による言語モデル間の性質比較
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 的場 未奈, 莊司 慶行, 大島 裕明
2. 発表標題 「寄り忘れ」防止のためのWeb閲覧履歴からの興味推定と興味と関連する地物の位置情報にもとづく通知
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 坂 裕奈, 莊司 慶行, 大島 裕明
2. 発表標題 Web閲覧履歴をカード化し整理させることによる閲覧内容の記憶定着支援
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 江原 駿介, 莊司 慶行, 山本 岳洋, Martin J. Durst
2. 発表標題 スタンスに合わせたニュースタイトルの自動生成によるニュース記事本文へのアクセスを促す情報提示
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 于 津松 瀧平 士夫, 澤浦 司, 莊司 慶行, 山本 岳洋, 山本 祐輔, 神門 典子, 大島 裕明
2. 発表標題 主体的なミュージアム観賞を促すための個人に合わせた「宝探し」ゲームの自動生成
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 泰山幸大, 山本岳洋
2. 発表標題 競技プログラミングにおける記号と制約を考慮したモデルによる着眼点の分類
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 三林 亮太, 日置 淳也, ファム フーロン, 加藤 誠, 山本 祐輔, 莊司 慶行, 山本 岳洋, 大島 裕明
2. 発表標題 文書分類タスクにおける事前学習済みBERTモデルの検索
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 奥田 萌莉, 石澤 秀紘, 大島 裕明
2. 発表標題 画像認識によるウキクサ科植物の表面積と総枚数の推定
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 古屋 昭拓, 山本 岳洋, 窪内 将隆, 大島 裕明
2. 発表標題 特許マイニングによる類似度推定に基づく物質の新たな用途の発見
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Dan Wang, Ryota Mibayashi, Hiroaki Ohshima
2. 発表標題 Visual Metaphor Generation based on Similarities in Appearance and Concept
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 奥村 笑大, 石橋 健, 大島 裕明
2. 発表標題 VR空間を用いたオンライン授業受講環境
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 高嶋 優快, 三林 亮太, 山本 岳洋, 澤田 祥一, 梶原 光良, 大島 裕明
2. 発表標題 場所説明文から地点を推定するTransformer Encoderモデル
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Wenjia Zhang, Yoshiyuki Shoji, Hiroaki Ohshima
2. 発表標題 Recommendation of Revisiting Web Pages related to Currently browsing Web Pages
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 津田 裕哉, 石橋 健, 大島 裕明
2. 発表標題 MRデバイス環境における物理インタラクションを伴う日常タスク処理
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 西本 海生, 相原 健郎, 神門 典子, 莊司 慶行, 山本 祐輔, 山本 岳洋, 大島 裕明
2. 発表標題 位置情報を用いたビンゴゲームによる共通点を持つ展示物の推薦
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 日置 淳也, 三林 亮太, 山本 岳洋, 窪内 将隆, 大島 裕明
2. 発表標題 インスタンスセグメンテーションにおけるデータ類似性に基づく転移学習済みモデルの検索
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年



1. 発表者名 芦澤 亜里紗, 瀧田 慎, 大島 裕明
2. 発表標題 食品レビューにおける観点抽出とその検索への応用
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 眞鍋 陽向, 三林 亮太, 沼田 龍介, 山本 岳洋, 大島 裕明
2. 発表標題 Transformer Encoderを用いたプラズマ乱流の予測と分析
3. 学会等名 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM 2023)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 奥田 萌莉, 大島 裕明
2. 発表標題 多様な特徴に基づく葉の分類
3. 学会等名 第25回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三林 亮太, 上田 昌輝, 川原 敬史, 松本 直彰, 吉村 拓真, 相原 健郎, 神門 典子, 莊司 慶行, 中島 悠太, 山本 岳洋, 山本 祐輔, 大島 裕明
2. 発表標題 文化財の特徴理解に特化したBERTモデル
3. 学会等名 日本データベース学会 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 古屋 昭拓, 山本 岳洋, 窪内 将隆, 大島 裕明
2. 発表標題 特許文書を用いた物質と特徴の関係理解に基づく物質の意外な用途の発見
3. 学会等名 日本データベース学会 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 河田 友香, 山本 岳洋, 大島 裕明, 柳田 雄輝, 加藤 誠, 藤田 澄男
2. 発表標題 ECサイトでのカメラ購買前後におけるWeb検索クエリの時系列分析
3. 学会等名 日本データベース学会 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 浜島 聡一郎, 山本 岳洋, 山本 祐輔, 大島 裕明
2. 発表標題 健康情報検索における信憑性判断と意見の形成に関する調査
3. 学会等名 日本データベース学会 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柳田 雄輝, 加藤 誠, 河田 友香, 山本 岳洋, 大島 裕明, 藤田 澄男
2. 発表標題 検索行動に基づく購買満足度の関係分析
3. 学会等名 日本データベース学会 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本 直彰, 湯本 高行, 山本 岳洋, 大島 裕明
2. 発表標題 疑似訓練データを用いたニュース記事間の続報判定
3. 学会等名 日本データベース学会 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川原 敬史, 湯本 高行, 大島 裕明
2. 発表標題 日常的な行動を表す文からのリスク文の検索と生成
3. 学会等名 日本データベース学会 第14回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM Forum 2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本 直彰, 湯本 高行, 山本 岳洋, 大島 裕明
2. 発表標題 記事の言及関係に基づく探索者ビューを用いたニュースアーカイブ検索
3. 学会等名 電子情報通信学会 信学技報
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	莊司 慶行  (Shoji Yoshiyuki)  (30783039)	静岡大学・情報学部・講師    (13801)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	大島 裕明  (Ohshima Hiroaki)  (90452317)	兵庫県立大学・情報科学研究科・准教授     (24506)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関